

自転車を安全で快適にご使用いただくために！

ルビーデラックスフロントチャイルドシート取扱説明書

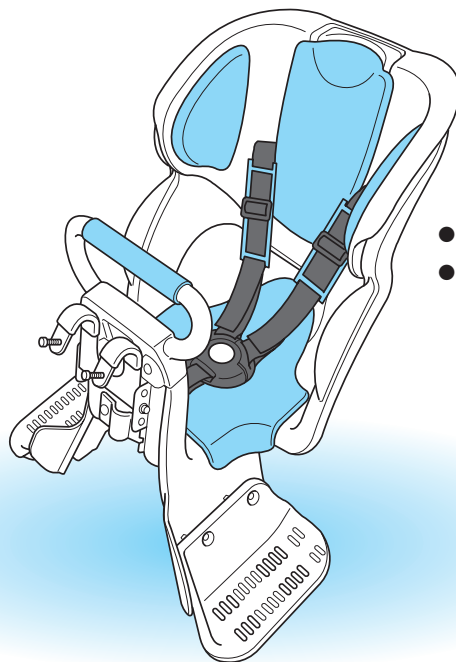
このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

⚠ 警告

- この商品は適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。正しく取り付けられていないままご利用された場合、ケガ、事故のおそれがあります。
- お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。読まれたあとは大切に保管してください。
- 適合自転車、幼児の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合は、SG規格（製品規格）の補償対象外となる場合があります。
- 6歳以上のお子様を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償外となる場合があります。
※SGマーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

⚠ 注意

- このチャイルドシートは「幼児2人同乗基準適合車」に対応しており、幼児2人同乗の認定を受け、当該チャイルドシートを指定している自転車に装着した場合のみ、幼児2人同乗してご利用いただくことが可能です。
これ以外の車種に装着の場合は、幼児1名同乗でのご利用となります。
詳しくは、ご使用になる自転車の取扱説明書をご確認ください。



- 品番：A550320
- 略号：FCS-LD2

— 目 次 —

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| ●警告表示について.....2 | 4. 走行時は.....6 |
| ●はじめに.....2 | 5. 保管のしかた.....7 |
| 1. 乗車できるお子様について.....2 | ●各部の名称.....7 |
| 2. ハンドルバー・ハンドルポストの制限.....3 | ●チャイルドシートの操作方法.....8 |
| 3. チャイルドシートを装着する自転車について.....3 | 1. シートベルトの調整.....8 |
| 4. 取り付け時の注意.....4 | 2. バックルの固定・解除.....9 |
| ●ご使用時の注意.....4 | 3. ヘッドガードの高さ調整.....9 |
| 1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は.....4 | 4. 足乗せの高さ変更方法.....11 |
| 2. お子様をチャイルドシートへ乗せ降ろし.....5 | ●お子様の乗せ方.....12 |
| するときには.....5 | ●お子様の降ろし方.....12 |
| 3. お子様をチャイルドシートに乗せたら.....6 | |

ブリヂストンサイクル株式会社

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車が壊れるなどのおそれがあります。

表示の意味



警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



強制

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

はじめに

本商品のご利用にあたっては、以下に示すお子様とハンドルバー・ハンドルポストと自転車の制限をご確認の上、ご利用ください。



警告

- 推奨されていないハンドルバーやハンドルポストへの組み付けや、制限体重を超えたお子様を乗せて、ご利用された場合、商品の早期破損・折損が生じ、ケガ、事故のおそれがあります。

1. 乗車できるお子様について

- お子様の体重（着衣を含む）
8kg以上15kg以下のお子様に乗車可能です。

参考

- 使用年齢：1歳（12ヶ月）以上4歳（48ヶ月）未満
- 目安身長：70cm以上100cm以下
- チャイルドシート重量：3.5kg

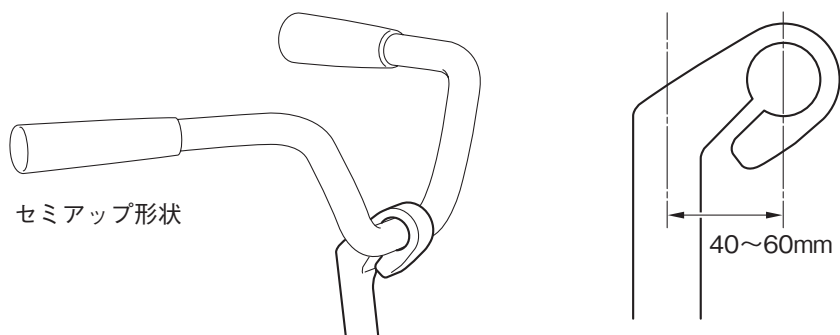


警告

- 上記の範囲内であっても、乗せるお子様の体格が大きくなるほど運転しづらくなります。
- お子様を乗せても、安全に運転ができることをご確認の上、ご使用ください。

2. ハンドルバー・ハンドルポストの制限

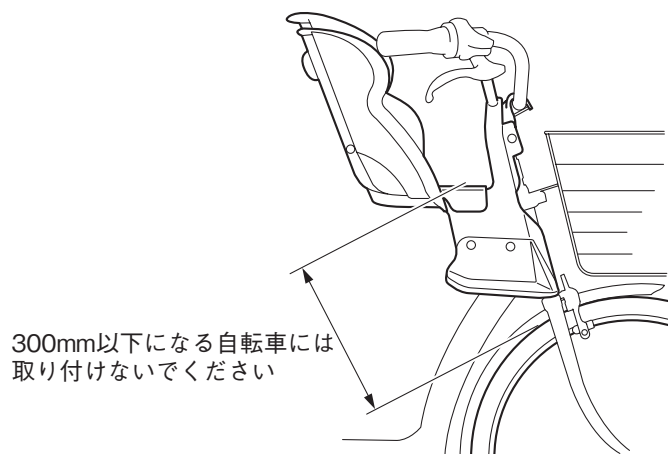
- ハンドルポストの突き出し寸法は40～60mmに適應しています。
- 組み付け可能なハンドルバーはセミアップ形状です。オールランダータイプのハンドルバーやスポーツ車用および特殊形状のハンドルバーを装着している自転車には装着できません。



3. チャイルドシートを装着する自転車について

取り付け可能な自転車については下記のとおりです。

- ①24インチ以上28インチ以下のサイズのシティ車（婦人用軽快車）に限ります。
ただし、フレームやハンドルバー・ハンドルポストの形状によって、組み付けができない場合があります。
- ②必ずロック付の両足スタンドの自転車をご使用ください。1本スタンドやロックのないスタンドの自転車には使用しないでください。
- ③座面と前車輪との距離が300mm以下になる自転車には取り付けないでください。



- ④ハンドルストッパーを備えた自転車に取り付けることを推奨します。
- ⑤一般のシティ車に取り付けできるチャイルドシートは自転車1台につき1つです。
- ⑥3人乗り（幼児2人同乗）自転車に取り付ける際は、販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書を確認し、取り付けの自転車がこのチャイルドシートを幼児2人同乗基準に指定している場合には取り付けることができます。
- ⑦小さい自転車ほど取り付け位置に制限が出たり、使用したときに安定性が低下しますので、ご注意ください。

4. 取り付け時の注意

注意

- 安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店でのご取り付けをお願いします。
- 一般のシティ車に取り付けるチャイルドシートは1つに限ります。
- 幼児2人同乗用自転車に取り付けるチャイルドシートは、前後各1つに限ります。
- 取り付け時は、ネジやナットを確実に締めてください。
- ハンドルストッパーやロック付きの両立スタンドを取り付けてお使いください。
- 自転車のハンドルを上下する必要があるときには、必ず販売店にご相談ください。

ご使用時の注意

注意

- 自転車にチャイルドシートを取り付けてお子様を同乗する場合、取り付けしていない場合と比較して自転車のハンドル操作性、走行安定性、制動性能が低下します。
このため、事前に安全な場所で、十分に走行練習してからご利用ください。
- チャイルドシートのシール表示や取扱説明書をご確認の上、ご使用ください。

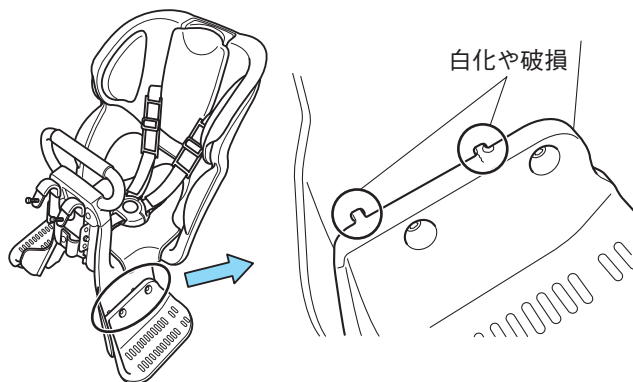
1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は

警告

- お子様の体重、年齢、身長等の範囲をお守りください。
- 本体、足乗せ、グリップ、ヘッドガード、ハンドルバー、ハンドルポストの取り付けネジ等が、しっかり締まっているか、日常点検を行ってください。
- 使用するときはチャイルドシート及びハンドルバー、ハンドルポストが確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。また、シートベルトが傷んでいないか確認してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。着用しない場合、事故時に重傷あるいは死亡につながるおそれがあります。着用した場合、軽傷ですむことが報告されています。また、運転者もヘルメットを着用するようおすすめします。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- 夏の炎天下では、直射日光が当たるシートクッションの温度は高温となります。自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。
- 一般のシティ車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り（幼児2人同乗）の自転車に同乗できるお子様は2人までです。それぞれの自転車で使用できるお子様の年齢、体重、身長の範囲を守ってください。
- スタンドが安定した状態で立っているか確認をしてください。またスタンドのロックがかかっていることも確認してください。

⚠ 警告

- この商品はSGマーク認定基準を満たしていますが、大きな衝撃が加わると破損・変形・クラック等が発生することがあります。一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用をやめ、十分点検してください。（また、販売店に点検を依頼してください。）
 - 特に、足乗せ部分は、このような衝撃に対して、ダメージを受けやすい部位となりますので、十分点検をおこなってください。
- 例：ダメージを受けた足乗せは、嵌合部が外れたり、白化や亀裂が生じます。



2. お子様をチャイルドシートへ乗せ降ろしするときは

⚠ 警告

- お子様は、荷物よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- お子様を乗せるときには必ず正しい姿勢になっている事を確認し、特に足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。
- お子様が一人でチャイルドシートに乗り降りしないよう注意してください。自転車が倒れるおそれがあります。

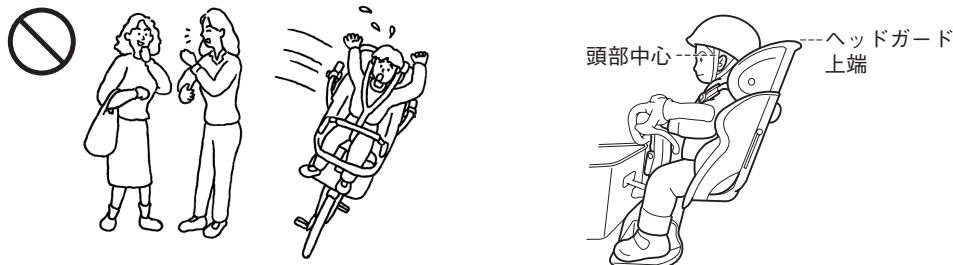


- 自転車を停車（駐輪）する場所はスタンドを立てたときに安定する場所を選んでください。またスタンドのロックも必ず掛けてください。自転車が転れ、お子様が重篤なケガを被る場合があります。
- ハンドルロック機構のある自転車は、ハンドルロックをした後にスタンドを立ててください。
- お子様をチャイルドシートから降ろした後は、シートベルトをバックルに嵌めてください。外した状態で走行すると、ベルトが車輪に巻き込まれたり、思わぬところに引っかかりハンドルをとられて、転倒するおそれがあります。

3. お子様をチャイルドシートに乗せたら

⚠ 警告

- 必ずシートベルト（肩ベルト・股ベルト）を使用してください。
- お子様の首に肩ベルトがかからないように注意してください。
- シートベルト（肩ベルト・股ベルト）が車輪に巻き込まれないように注意してください。
- ヘッドガードは必ず適正な高さで使用してください。
- お子様がグリップをしっかりと握るようにしてください。
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がケガをするおそれがあります。
- お子様をチャイルドシートに着座させたとき、ヘッドガード上端が頭部の中心（耳の上）より高くなるように調整してください。



⚠ 注意

- 足乗せは必ずお子様の体形にあった位置に調整してください。

4. 走行時は

⚠ 警告

- 傘を差しながらなどの片手運転など、危険な行為は絶対にしないでください。
- お子様が乗車中はグリップを握らせてください。自転車のハンドルを握らせると、スキマに手・指をはさむおそれがあります。
- お子様が眠らないように注意してください。
- 使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車用鍵がある場合、鍵が作動して思わぬ事故につながるおそれがありますので、その位置などには十分注意してください。
- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。
- 走行中にお子様がチャイルドシートの中で立ち上がったり暴れたりしないよう、注意してください。
- 使用に当たっては交通法規を守ってください。



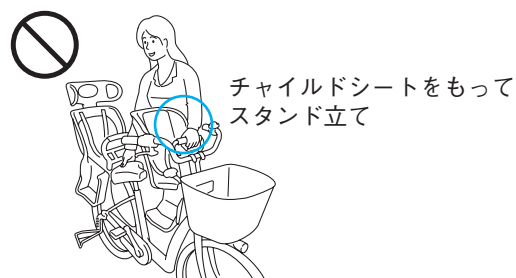
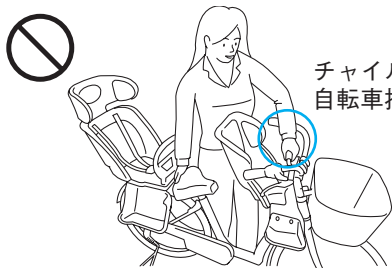
5. 保管のしかた

⚠ 警告

- シートベルトは消耗品です。標準装備されているチャイルドシートを安全にご使用いただくために、シートベルトは2年毎の交換をお勧めします。
なお、シートベルトの交換につきましては、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。
- チャイルドシート本体やシートベルト、バックルに異常が認められる場合は、そのまま使用せず販売店へご相談ください。

⚠ 注意

- 駐輪時等で、自転車を持ち上げる必要があるときに、チャイルドシートをもって持ち上げないでください。想定外の負荷により、チャイルドシートが破損する場合があります。

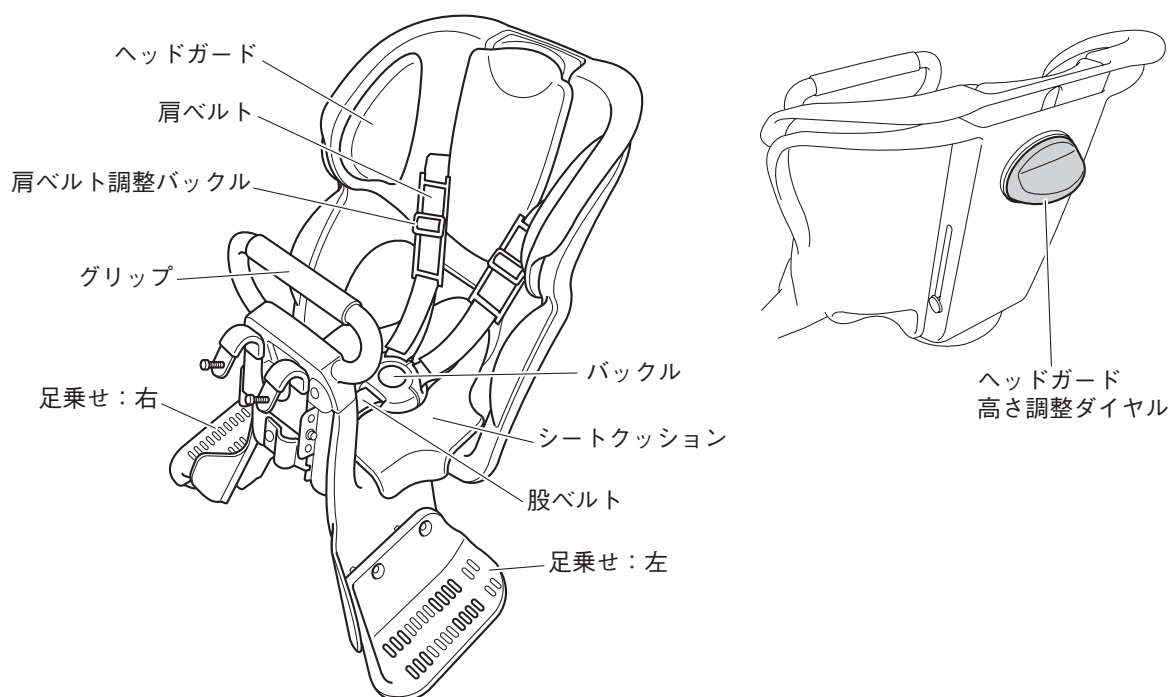


- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪、保管し、雨ざらしにしないでください。早期劣化の原因となります。

●シートクッションのお手入れ方法

シートクッションや背部クッションが汚れた場合は、水を含ませて絞ったタオルなどで拭きとってください。

各部の名称

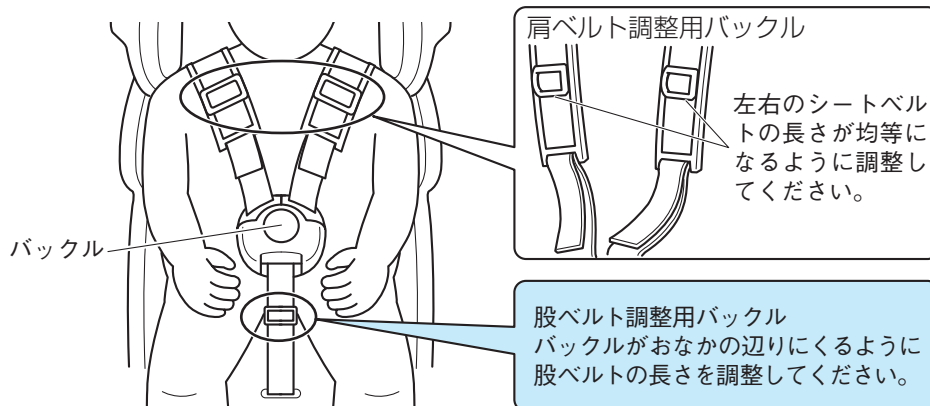


チャイルドシートの操作方法

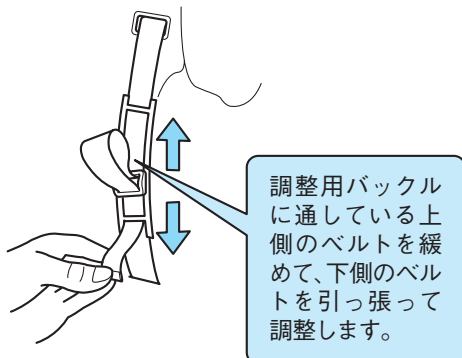
1. シートベルトの調整

- シートベルトはお子様の体格や服装に合わせて長さを調整してください。
 - ①股ベルト調整用バックルを操作して、股ベルトの長さを調整します。
 - ②肩ベルト調整用バックルを操作して、肩ベルト（左右）の長さを調整します。

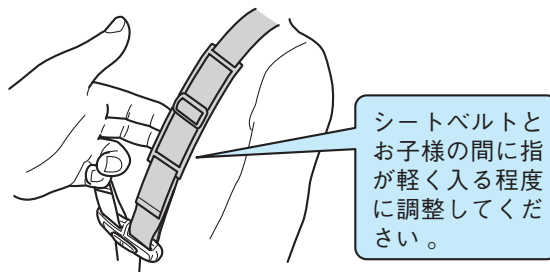
調整用バックルについて



●調整用バックルの調整の仕方



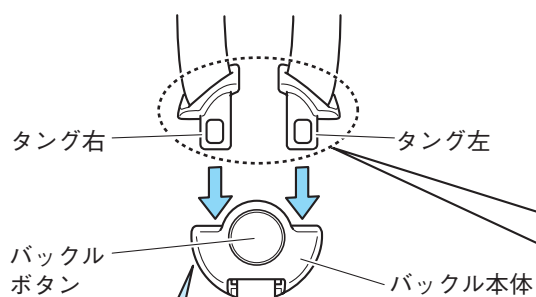
⚠ シートベルト調整時のポイント



2. バックルの固定・解除

- タングは左右別々に固定し、左右同時に解除することができます。

固定する時



タングはカチッと音がするまで確実に差し込みます。

タングは表面をバックルボタン側に向ける
(図はタング左、タング右も同様)

表面

裏面

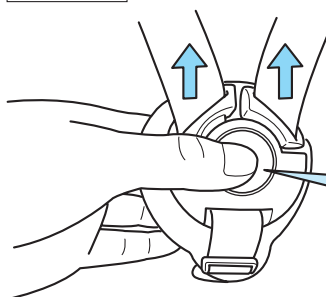


裏面は差込部の間中部に金属が見える

⚠ 警告

- タングを差し込んだら、左右のタングを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

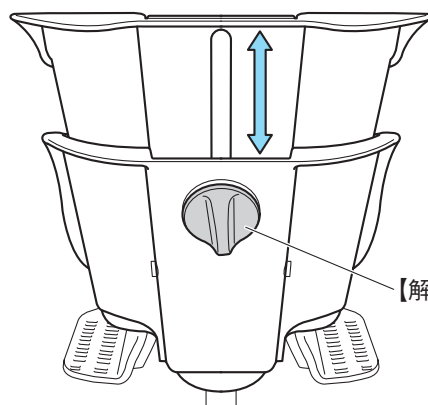
外す時



バックルボタンの中央部を押すと
左右のタングが外れます。

3. ヘッドガードの高さ調整

- ① 調整ダイヤルを【解除】の位置に合わせると、ヘッドガードは上下させることができます。



【解除】ダイヤルを縦に

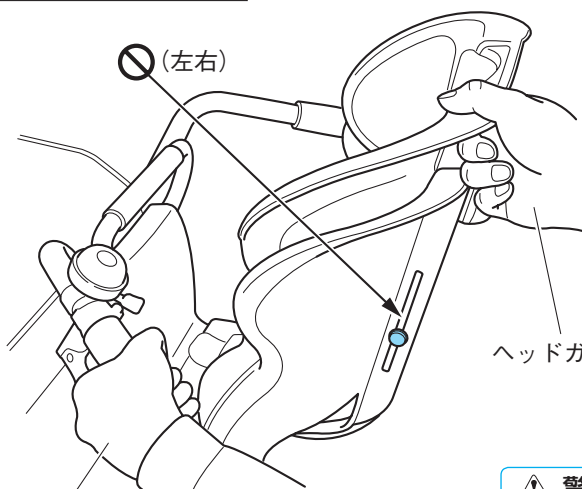
②ヘッドガードを上下させて、適切な高さに調整します。

- ヘッドガードはお子様の体格に合わせて高さを調整してください。



ヘッドガード上端をお子様の耳の上より
高くなるように調整する

ヘッドガードを上げるとき



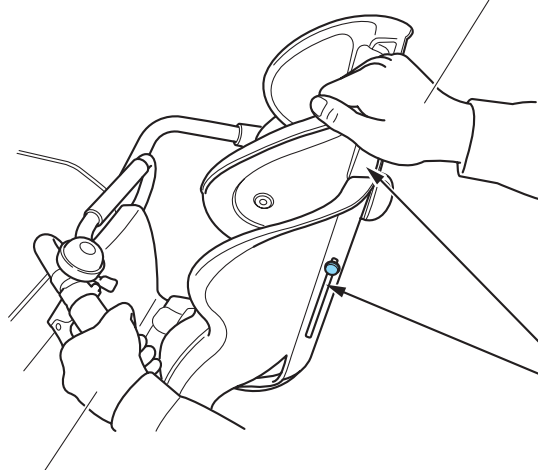
片方の手でハンドルを持って、
自転車を押さえてください

ヘッドガード後部を引き上げてください

⚠ 警告

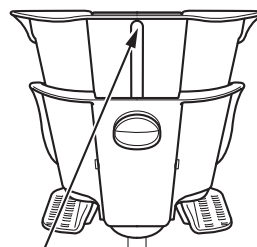
- ⊘→で指した隙間に指をはさまないようにご注意ください。
- お子様を乗せている時は、お子様の手などを隙間にはさまないようにご注意ください。

ヘッドガードを下げるとき



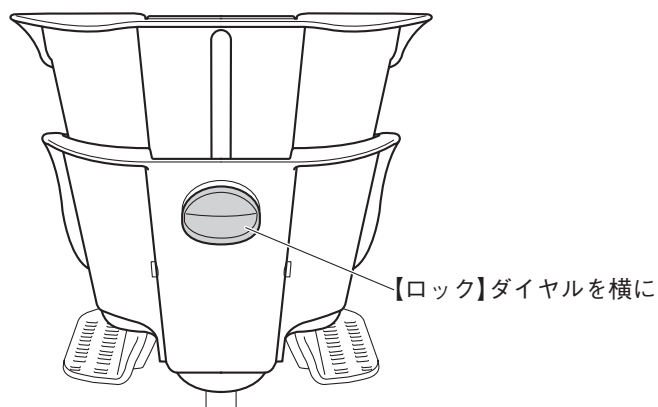
片方の手でハンドルを持って、自転車を押さえてください

ヘッドガード後部を上から押さえて
押し下げてください



⊘ (左右)

③高さを調整した後は、調整ダイヤルを【ロック】の位置に合わせて、ヘッドガードを固定します。



④ヘッドガードを軽く上下に動かし、確実に固定されたことを確認してください。

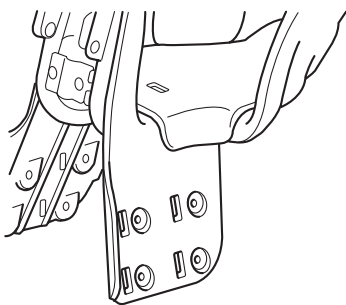
4. 足乗せの高さ変更方法



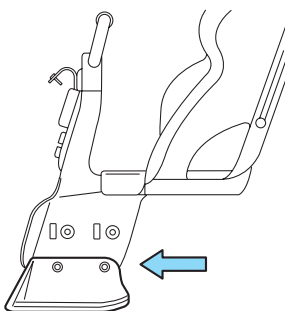
●高さ調整は販売店にご依頼ください。

●足乗せはお子様の体格に合わせて高さを変更することが可能です。(上下2段階)

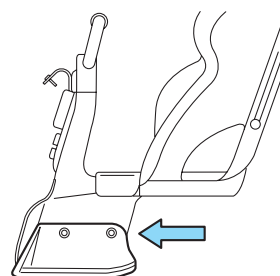
本体には足乗せを上下2段階に高さ変更できるようになっています



足乗せを下段位置に組み付け



足乗せを上段位置に組み付け



●調整方法は組付説明書をご確認ください。

お子様の乗せ方

- ①バックルボタンを押して、バックルからタングを外します。
- ②左右の肩ベルトと股ベルトを広げ、お子様をクッションの上に座らせます。
- ③肩ベルトをお子様の肩にかけ、左右のタングをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

⚠ 警告

- 差し込んだら、左右のタングを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

- ④肩ベルトの長さを調整し、肩ベルトの緩みを取ります。(P8)

⚠ 警告

- ベルトに緩みやねじれのないようにしてください。ねじれている場合、事故の際に重大な傷害を負う可能性があります。

- ⑤ヘッドガードの高さを調整します。(P9～P11)

お子様の降ろし方

- ①バックルボタンの中央を押して、バックルからタングを外します。
- ②お子様をチャイルドシートから降ろします。
- ③タングをバックルに嵌めます。
お子様を乗せていない時でもシートベルトのバックルをはめるようにしてください。
(バタツキ防止のため)

ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室

受付時間： 9:00～12:00／13:00～17:00
(土・日・祝日及び弊社指定休日は休み)

フリーダイヤル： ☎ 0120-72-1911
(国際電話・インターネット電話
でのご利用はできません。)

IA01-131
4, E